

下伊那農業高等学校創立百周年記念事業賛助金趣意書

長野県下伊那農業高等学校は、大正九年に地域の農業振興を目的に郡立下伊那農学校として稲井ヶ丘に誕生しました。その後、県立移管、施設設備の拡充、学制改革、定時制の設立と統廃合、学科改編等の幾多の変遷を経て今日に至り、平成三二年に創立百周年を迎えることとなります。

卒業生は、創立以来今日まで一万八千名を超え、この地域の農業をはじめ産業界の発展に大きく貢献するようにも広く全国の産業界各分野で活躍している方々です。今後、社会がいかに変わることも、校歌の一節にある「農はわれらのいのちかな」の心を大切にして、地域社会の有為な人材養成に責任をもつ高校として発展し続けていくことを願っています。

この間、本校一世紀にわたる教育活動の歩みを振り返り、これからの新しい時代に対応した学校のあるべき姿を展望し、将来の発展を期するため、同窓会、PTA、学校の三者が一体となって、地域の皆々への協力を得て、平成三二年に創立百周年記念事業をおこなうことになりました。

この間については、左記の事業を計画しておりますので、趣意を伺い観察のうえ、下伊那農業高等学校発展のために芳志を賜りますようお願い申し上げます。

記

一 創立百周年記念事業の内容

- 農業学習施設建設費

地域と連携した農業学習の活動拠点とし、教育環境の充実。

- 学習環境整備

マイクロバスの更新。

- 記念誌編纂

- 記念式典、記念講演会、祝賀会

- 二 募金期間 平成二十八年六月一日 ～ 平成三十年五月三十一日
- 三 募金額 一〇 五千元（できむねは一〇以上）

平成二十八年 五月 吉日

下伊那農業高等学校創立百周年記念事業実行委員会

委員長 関 島 伸 喜